



6年間で築いた人々とのつながりが
その後の人生の原動力になった。

関西学院大学経済学部4回生

板敷 みさとさん

金融業界就職予定



Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

学校行事はもちろん、その行事の前の練習も思い出深いです。初等部の先生方は、私たちにとても期待し、どの行事でも熱くご指導下さいました。本番に向け、上を目指して褒めて伸ばすご指導により、最高の思い出を作ることができました。特に走ることが大好きで負けず嫌いだっちは、マラソン大会前にタイムやフォームを一緒に研究して下さいました先生のおかげで、大会本番で優勝することができ、とても嬉しかったです。

Q 初等部卒業後、中学、高校、大学と、どのような学生生活を送ってこられましたか。

初等部卒業後はスポーツに熱中しました。習い事の空手を続け、高校ではアメリカンフットボール部に所属しトレーナーとして活動しました。大学からは体育会でラクロスを始め、日本一を目指しました。ラクロス部としてKGSOで初等部に伺い、初等部の皆さんと一緒にラクロスができたことは、とても感慨深い思い出となりました。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負を教えてください。

社会人生活での抱負は、今まで支えて下さった方に恩返しができる人になることです。これまで、やりたいことに不自由なく挑戦できるよう応援してくれた両親をはじめ、先生方や周りの方々に、何かの形で感謝を表現したいです。また、将来家庭を持つことができれば、自分がしてもらった以上のことを子どもにしてあげることが夢です。そのために知識を身につけ、自立したいと思います。

Q 初等部の後輩たちに向けて、メッセージをお願いします。

私にとって初等部での出会いは一生の宝物です。初等部で出会った友人や先生方は、今でも私の原動力であり、常に支えて下さる存在です。昨年の部活動の試合前、初等部の沢山の先生方が温かいメッセージを送って下さり、学生最後の試合で力を発揮することができました。6年間、周りの方々と一緒に、初等部生活を惜しみなく楽しんで下さい。きっと素敵な宝物を見つけられると思います！